

北陸農政局長賞受賞

～地域の資源を通じた地域の魅力づくり～

受賞者 しかほく市 かいみずほ会

いしかわけん
(石川県かほく市大海地区)

■ 地域の概要

「かほく市みずほ会」が活動するかほく市大海地区は、石川県のほぼ中央、能登半島の付け根に位置し、12の集落から構成され、農林業を中心に瓦製造、養蚕、繊維業が盛んな地域である。

また、健康増進施設等の建設や、看護学校が誘致される等、健康と福祉をテーマとした地域づくりが進められている。

位置図



■ 主なむらづくり概要

地域産業の衰退や高齢化が進むなか、「かほく市みずほ会」では、地区の自発的な地域振興活動や行政の地域振興施策を円滑に推進する活動を進め、地区に自生していた大ぶりの柿 たかまつもんべいがき「高松紋平柿」の産地化、高級志向のぶどう「ルビーロマン」の生産、地元にある麴文化に着目した伝統健康食品「かぶら寿し」の復活など、地元にある伝統的な資源を継承、発展させている。

また、新たな担い手確保のため、地域内外からも新規就農者を募集し、農園での研修を実施することで、担い手の確保に取り組んでいる。

地区内の小学校と連携し、森林（学校林）での児童の自然活動など、「コミュニティスクール活動」と呼ぶ活動を実施しており、伝統の大海味噌づくりや高松紋平柿栽培など様々な活動を行うことで、郷土愛の育成や地域交流に繋げている。



高松紋平柿



ルビーロマン



コミュニティスクール活動
(大海味噌づくり)